2026 年 父母のための就職セミナー・座談会＜京都会場＞ 報告書

同志社大学商学部父母会
理事 伊藤 賢治

2026 年 11 月 8 日(日)、同志社大学 良心館 RY104 教室 において、「父母のための就職セミナー 京都会場 座談会」が開催されました。当日は約 80 名のご父母の皆様にご参加いただき、卒業生 4 名、4 回生 6 名の計 10 名の学生・卒業生にご登壇いただきました。就職活動を取り巻く環境が大きく変化する中、実際に就職活動を経験した学生・卒業生のリアルな声を聞くことができる貴重な機会となり、会場は終始熱気に包まれていました。

＜パネルディスカッション＞



セミナー前半では、卒業生 4 名、4 回生 6 名の計 10 名全員によるパネルディスカッションを実施しました。皆様の一言自己紹介に続いて「就活を始めた時期」、「1・2 回生のうちにやっておけばよかったこと」「親に支援してもらって助かったこと」、ご父母の皆様にとって関心の高いテーマについても具体的なエピソードが紹介されました。

登壇者の皆さんからは、就職活動の進め方に正解はなく、自分自身と向き合いながら納得できる進路を見つけることの大切さが語られました。学生ごとに異なる経験や考え方に触れることで、参加されたご父母の皆様も現在の就職活動の多様性を実感されたことと思います。

＜保護者向けショート講演＞

続いて、京都支部の堀之内さんより、「就活生の親になってわかったこと」をテーマにショート講演が行われました。



講演では、現在の就職活動においては情報収集が非常に重要であることが紹介されました。また、一口にインターンシップと言っても内容や目的は企業によって大きく異なり、採用選考との関わり方もさまざまであることについてお話しいただきました。

さらに、エントリーシートや筆記試験、適性検査などについても企業ごとに特色があり、保護者世代が経験した就職活動とは大きく変化している実情について分かりやすく説明いただきました。

ご自身がお子様の就職活動を見守る中で感じた経験談も交えながらお話しいただき、ご父母の皆様にとって親としての関わり方を考える貴重な機会となりました。

＜座談会＞

後半は、本セミナーのメイン企画である座談会を実施しました。

会場には 10 の島を設け、それぞれに学生・卒業生が入り、ご父母の皆様と直接対話する形式で進行しました。20 分ごとに参加者が移動し、計 3 回の座談会を実施したことで、多くの登壇者から幅広いお話を聞くことができる構成となりました。

各テーブルでは、「インターンシップへの参加時期と選び方」「自己分析や企業研究の進め方」「エントリーシート作成の工夫」「面接対策」「大学生活との両立」など、実践的なテーマについて活発な質疑応答が行われました。また、卒業生からは実際に社会人として働き始めて感じることや学生時代にやっておけばよかったことなど、就職活動を終えた今だからこそ語れる貴重なお話も共有されました。

どのテーブルでも時間いっぱいまで質問が続き、ご父母の皆様が熱心にメモを取られる姿が印象的でした。パネルディスカッションでは聞ききれなかった内容について直接質問できることから、参加者にとって非常に満足度の高いプログラムとなりました。





＜最後に＞

今回の京都就職セミナーでは、10 名もの学生・卒業生の皆様にご協力いただき、大変充実した内容となりました。現在の就職活動は早期化・多様化が進み、保護者にとっても分かりにくい部分が少なくありません。しかし、実際に就職活動を経験した学生や卒業生の言葉には、インターネットや書籍だけでは得ることのできない説得力があります。今回のセミナーが、ご父母の皆様にとって就職活動への理解を深めるとともに、お子様との関わり方を考える一助となれば幸いです。

ご参加いただきましたご父母の皆様、ご登壇いただいた卒業生・学生の皆様、そして本セミナーの開催にご尽力いただきました父母会役員、事務局の皆様に心より感謝申し上げます。

誠にありがとうございました

